

個別事業(取組)評価			
事業No.	47	施策の柱への位置付け	柱⑧ 生涯学習の推進等による教育風土づくり
事業名称	全国生涯学習フォーラム高知大会推進事業費	担当課	全国生涯学習フォーラム推進課
		当初予算額(千円)	63,028
		補正後予算額(千円)	-
		決算額(千円)	46,971
		当初計画	年度末点検・評価
① 現状(課題)とその要因	<p>【現状】</p> <p>県民の生涯学習に対する意識の高まりが十分でなく、生涯学習に係る諸活動も地域によって格差があるなど、生涯学習の機運の醸成にまで至っていない。</p> <p>※ 公民館連絡協議会や社会教育関係の諸会議、NPO生涯学習支援センターの取組を通して現状を把握</p>	<p>ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>現状分析の結果については、9月に実施した中間点検・評価等で定期的に検証を行っている。</p>	
	<p>【要因】</p> <p>本県には、生涯学習を総合的に推進する中心的役割を担う生涯学習推進センターが未設置であるほか、既存の社会教育施設の活用が十分とはいえない状況にある。</p> <p>※ 青少年施設連絡協議会での協議により特定</p>	<p>イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>要因分析の結果についても、9月に実施した中間点検・評価等で定期的に検証を行っている。</p>	
② 目標(Outcome)	<p>① 大会参加者の生涯学習への関心・意欲を高めることにより、各自の生涯学習の取組の更なる促進につなげる。</p> <p>② テーマ別フォーラムの開催により、テーマ毎に本県の課題解決に向けた取組を全国発信するとともに産官学民とのネットワークを構築する。</p> <p>③ 大会期間中に全国から2万人、全体で20万人の参加者を目指す。</p>	<p>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>◆ ①②については、今回の大会目的として掲げているもので、今後継続した取組により達成可能と思われることを設定した。</p> <p>◆ ③参加者の目標数値については、会場規模、県人口、交通の便、宿泊施設数等に基づき設定した値であり妥当な数値であると判断している。</p> <p>エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>① 来場者アンケートによる結果 各会場とも多数の方々に参加していただいた。各テーマ別フォーラム会場、ぎばさん会場で実施したアンケート調査では「満足・ある程度満足した」が88.8%と高い満足度を示す結果が得られた。また、参加者のうち生涯学習に関心を持った人は91.6%、今後活動に参加したいと思った人は94.8%であり、参加した多くの人は生涯学習に対する関心や意欲が高まったといえる。</p> <p>② 4フォーラムそれぞれのテーマに基づいた本県の取組を提言書等において全国へ発信することが出来た。また、環境フォーラムにおいて、環境活動等実施しているNPOや団体、関係機関が参加したネットワーク型組織を形成しようとする「高知自然学校構想」を発表した。これを受け、来年度から自然体験活動や環境教育の推進に向けた取組を行うこととしている。</p> <p>③ 参加者数は下記のとおり当初の目標を大幅に上回った。</p> <p>今大会の参加者数(大会期間中及びその他事業) *県外は内数 総合開会式等 24,781人(県外 4,360人) 参加事業(団体) 7,236人(県外 2,129人) 市町村主催事業等 342,938人(県外 58,919人) 計 374,955人(県外 65,408人)</p>	
	<p>【検証(比較)方法】</p> <p>◆ 来場者へのアンケート調査</p> <p>◆ 各テーマのフォーラムの取組内容の把握</p> <p>◆ 大会期間中及び市町村事業の参加者の把握</p>		
③ 実施内容(Input・Output)	<p>◆ 全国生涯学習フォーラム高知大会開催に向け、計画的に諸準備を行う。</p> <p>・ 実行委員会の開催(6月、2月)</p> <p>・ 実施設計書(案)の策定</p> <p>・ 地産外商・食育展へ出展する市町村出展内容の確定と全国生涯学習情報発信市・体験ひろば・参加事業への出展募集(6月)</p> <p>・ 市町村主催事業の広報活動(6月～11月)</p> <p>・ 県内外へのPRキャラバン隊(7月～11月、及びガイドブック作成・配布、新聞・TV等)でのPR(10月～11月)</p> <p>・ 各テーマ別プロジェクト委員会の開催(4月～1月)</p>	<p>オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>4月～ テーマ別フォーラム(環境、地域再生、地域コミュニティ) 2月 プロジェクト委員会開催 3フォーラム18回開催</p> <p>6/30 第2回実行委員会開催 補正予算、事業計画(案)の承認</p> <p>6/1～11/30 市町村主催事業111事業のうち10事業でPR活動実施</p> <p>7月～ 地産外商・食育展31市町村、全国生涯学習情報発信市36団体、 8月 体験ひろば29団体、参加事業22団体の出展団体確定</p> <p>8月～ 県外PR活動(スーパーよさこい、ど真ん中まつり、土佐の土曜日 10月 福恋アジア祭り) 四国PR活動(徳島駅、高松駅、松山市アーケード)</p> <p>10月～ 大会ガイドブック作成・配布、TV・ラジオCM放送、新聞広告 11月 掲載、キャンペーン事業実施(イオンモール高知)</p> <p>11/20～ 総合開会式、全国生涯学習情報発信市・体験ひろば、地産外商・食育展、文化芸術ライブステージ、各テーマ別フォーラム閉会式</p> <p>2/16 第3回実行委員会開催 事業報告、収支決算(見込)報告</p>	
	<p>目標達成度 A 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/></p> <p>【総合評価】</p> <p>目標数値として掲げた大会参加者数は達成でき、参加者の満足度や関心・意欲も高く、フォーラムにおける本県の課題解決に取り組む姿勢を全国発信できた。</p> <p>また、閉会式においては、11月1日を「志・とさ学びの日」とする教育の日の宣言を行うことができ、今後の教育的な風土づくりのためのきっかけをつくることができた。</p>	<p>【今後の方向】</p> <p>◆ 今大会後の継続した取組として、フォーラムのテーマ別にまとめると以下のとおりである。</p> <p>・ 「環境」⇒「高知自然学校構想」の実現に向け、NPOや団体、関係機関が参加した自然体験活動や環境教育を推進する取組を行う。</p> <p>・ 「地域再生」⇒ 郡部の高等学校定時制において社会人向けの実務能力の取得に向けた講座を新たに開設する。</p> <p>◆ 11月1日の教育の日「志・とさ学びの日」においては、今後、県民の教育に対する意識の高揚と学習活動への参加の気運の醸成を図っていくこととしている。</p>	
総合評価と今後の方向			